

**共通テストイヤー**

新型コロナウイルス関連で、例年とは異なるリズムで新学期が始まりました。自分の生活リズムを確立し、学習に打ち込むために、3点固定を心がけましょう。

**就寝時刻と起床時刻**を固定すると、

- 睡眠時間が確保できる。すると
- 集中力維持, 体調管理に繋がる。

**学習開始時刻**を固定すると、

- 宅習時間が確保できる。すると、
- 予習・授業・復習サイクルが生きる。

起床時刻は固定されている人も多いので、まずは学習開始時刻と就寝時刻を固定できるように計画を立ててみましょう。C-pass を上手に使うことがポイントです。

特に3年生は、「思考力」「判断力」「表現力」が問われるとされている、「大学入学共通テスト」に備えなければなりません。余裕を持って熟考できるよう、生活スタイルを工夫しましょう。

**進路指導室へ行こう！**

今年度の進路指導室のメンバーは以下の7人です。

|       |          |
|-------|----------|
| 進路主任  | 山口 悟：数学  |
| 進路副主任 | 山下 豊作：数学 |
| 進路事務  | 西 洋子     |
| 1学年   | 磯部 広志：理科 |
| 2学年   | 生駒 真也：英語 |
| 2学年   | 前田 寛明：国語 |
| 3学年   | 森田 亮三：国語 |

進路指導室には、各大学からの案内や赤本など、進路に関する情報があふれています。進路や学習に関する相談にも可能な限り対応します。分からないことがあったら遠慮せずに進路指導室を訪ねてみましょう。

**55期生 国公立大に多数合格！難関大も！**

今春卒業した55期生も、日々努力を重ね、各自の進路を切り拓きました。地元の鹿児島大に79名が合格したほか、東京外国語大・筑波大・東京都立大・九州大・早稲田大・慶応大などの難関大学にも合格者が多数出ました。国公立大合格者総数は160名でした。

皆さんが鹿児島中央高校を選んだ理由は、主に「大学進学のため」でしょう。新学期が始まった今、高校時代を本校で過ごす意義を再確認しましょう。在校生が55期生以上に躍進することを期待します。

| 大学名    | 55期 | 54期 | 53期 |
|--------|-----|-----|-----|
| 東京外国語大 | 1   |     |     |
| 筑波大    | 1   |     |     |
| 東京都立大  | 2   |     |     |
| 広島大    | 6   | 1   |     |
| 山口大    | 4   | 2   | 1   |
| 九州大    | 5   | 4   | 4   |
| 九州工大   | 1   | 2   | 4   |
| 福岡教育大  | 3   | 3   | 4   |
| 長崎大    | 5   | 3   | 4   |
| 熊本大    | 10  | 14  | 15  |
| 宮崎大    | 8   | 5   | 2   |
| 鹿児島大   | 79  | 112 | 81  |
| 北九州市立大 | 4   | 8   | 8   |
| 国公立大合計 | 160 | 180 | 154 |

(表中の大学は主な進学先)

**「シラバス」活用のすすめ**

進路指導部から配付される『好学通信』は、一般に「シラバス(Syllabus)」と呼ばれます。シラバスを

見れば、「今何を学ぶ時期で、いつまでにどのような学習内容を、どのように学習するのか」が分かります。つまり、自分が「今どこにいて、どこへどのように向かうのか」が示された「**学習の地図**」を手に入れているのです。

受験勉強は3年次からスタートするものではありません。1年次からの学習の積み重ねが非常に重要です。高い志を持つ本校の生徒が、積極的かつ自発的に学習に取り組むことが進路志望実現のための第1歩です。日頃から「**自分が向かう先**」を見据え、「**自ら考える学習**」を心がけましょう。1・2年生は今から自覚を持って取り組み、3年生はさらに質を高めましょう。最高のスタートを切り、最高のゴールを目指しましょう。

**シラバスの3要素**

- ① 学習目標
- ② 評価方法・評価のポイント
- ③ 指導計画

大学入学共通テストまであと263日。頑張れ3年生

## 掌上の悪魔と『論語』

真新しい制服に身をまとった321名の新入生が本校の正門をくぐってから早くも3週間が過ぎました。みんなの授業態度を見ても、C-PASSや作文「鹿児島中央高校に入学して」を読んでも、一人ひとりが様々な思いを胸に入学してきて前向きに頑張ろうとしていることは想像に難くありません。今の気持ちを常に持ち続け充実した高校生活を送ってほしいと思います。

さて、充実した高校生活と言いましたが、私は、スマホの使い方によってこれからの3年間の高校生活が決まると思っています。高校生活におけるスマホの問題点は大きく2つあります。勉強しなくなることと人間関係のトラブルです。

私には小さな子どもがいますが、昨年、「何歳からスマホを持たせるべき？」とみんなの先輩達に尋ねたところ「勉強しなくなるから高校生まではいらない」という意見が多く聞かれました。ここには「スマホの使い過ぎはよくないとはわかってはいるけれど結局自分がスマホに使われている。だったらむしろスマホなんかこの世になければよかった」という想いが表れているような気がします。正直、私は自分が高校生の時にスマホがなくて良かったなと思うこともあります。今はほとんどの高校生がスマホを持っているようです。スマホに時間を奪われていく生徒をたくさん見てきました。みんなにとって魅力的なスマホ・・・天使のような顔で近づき、実は悪魔のようなスマホ・・・そんな現代の若者に警鐘を鳴らすがごとく三綱領五条目が教室に掲げてあります。ほら顔を上げてみてください。教室にありますね？その中に「和して同ざるなかれ」とあります。これは『論語』の「子曰わく 君子は和して同ぜず 小人は同じて和せず。(先生が言われた。君子は人と和らぎ協調するが、やたらとつるんだりしない。反対に小人はよくつるむが協調性はない。)」を原典としていると考えられます。「和する」とは協調性のハーモニーで言い換えれば社会性です。「同ざる」というのは「つるむ」こと。誰かの顔色を気にして意見を合わせたりどこに行くにも仲間とつるんだりするのは「和する」と似て非なるものです。勉強しているときにラインが来たから返事しないと心配だとか、終始友達とラインでつながっていなければ不安だというのは偽りの「和」です。スマホとの向き合い方はしっかりと考え、高校時代の貴重な宅習時間をスマホでムダにすることのないように。

そして毎年のようにスマホによる人間関係トラブルも発生しています。スマホの適切な使用法は先日の「スマホ・携帯安全教室」で学んだとおりです。みんな何が悪いのか、どうすればよいのか分かっているはずですが、それなのになぜトラブルはなくなるのでしょうか。

ここでもう一つ『論語』の紹介。「子貢問うて曰わく 一言にして以て終身これを行うべき者ありや。子曰わく 其れ恕か。己れの欲せざる所 人に施すこと勿かれ。(子貢が「ただ一つの言葉で一生涯かけて行う価値のあるものはありますか」とおたずねした。先生はこう言われた。「それは『恕』だね。思いやりということだ。自分がされたくないことは、人にもしないように。)」

『声に出して読みたい日本語』の著者である齋藤孝さんが小学一年生に『論語』を教えたとき一番人気だったのがこれだったそうです。人として基本であるはずの態度をごく端的に説いているから小学生でもわかる言葉です。それなのになかなかこれを全うすることができないのが人の現実です。『論語』には誰もがあたりまえだと思っているけれど実は達成できていないことをズバッと突いてくる言葉がたくさんあります。

鹿児島中央高校初代校長(柳直一校長)が定めた三綱領五条目と、約2500年前中国の思想家孔子の言行を弟子達たちがまとめた『論語』。その言葉がいまの私たちに送るメッセージ・・・58期生のみんなにはしっかりと受け止めてほしいです。まだまだ始まったばかりです、頑張れ58期生！！

(1年5組副担任 坂元ちひろ)

## 「今だからこそ」

2年3組副担任 岩下香緒

うららかな春の日ざしの中、ふと空を見上げると飛行機雲が見えた。水蒸気を多く含む春の空気は、空と飛行機雲の境を撫でて曖昧にし、一筋にとはいかないが、空のキャンバスにはっきりと、目的地を目指して飛行機が滑空した跡が残されていた。



そういえば、昔、飛行機の機内雑誌にパイロットの話が載っていた。飛行機雲は、いつもできるわけではない。気温が低く、湿度が高いという二つの条件が必要だ。この条件が揃って、見事な飛行機雲を作って飛んでいるというのを実感した時は、とても爽快な気持ちだ、と。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、世界は、当たり前の日常を喪失してしまった。通学して勉強をする、部活動をする、友人に会いに行く、食事に出かけるといった普通のことのできない状況に置かれる人々が増えている。誰かと話し、触れ合い、繋がるといった安心感が奪われ、孤独感と疲労、先の見えない不安が重くのしかかっている。こんな時に、コメディアン志村けんさんが「だいじょうぶだあ」と登場してくれればと思うが、今やそれもかなわない。

学校が再開したのも束の間、緊急事態宣言の発令を受け、再び休校措置が取られた。4月22日から5月6日まで、約半月が休校だ。3月の休校・4月始めの春休み期間も合わせると約50日間の休みがあったことになる。受験生である3年生は、授業の遅れによる大学入試への不安を抱きながら、ただひたすら自分で勉強をしていただろう。そうでなくては未来は拓けない。では、2年生の皆さんは、「Stay Home」が叫ばれる中、どのように過ごしただろうか。

自分で時間割を組んで計画的に学習を進めた人、1年次の復習をして学校再開に備えた人、普段できない家の手伝いをした人、体力維持のため家でできるトレーニングをした人など、この休校をめったにないチャンスだと捉えて、有効に時間を活用しようと様々な工夫をした人がいるかもしれない。

一方で、遅く寝て遅く起きる生活をした人、スマホやゲームに没頭した人、不要不急の外出はすると言わながらも友達と会って遊んだ人もいるかもしれない。

この50日間の使い方の差は大きい。日々の努力を離れて、己は成り立たない。先の見えない非常事態の今だからこそ、今一度過ごし方を考えてみてはどうだろうか。

ある学校で行われた進路講演会の講師は、「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。」と語っていた。イベントを行うのはおろか、ありふれた日常を営むのでさえ厳しい今だからこそ、いつか訪れる穏やかな日まで、自己を見つめ、自己練磨に努めるのが賢明だ。文豪ゲーテの言葉も参考になろう。「いつかゴールに達するというような歩き方はだめだ。一步一步がゴールであり、一步一步としての価値をもたなくてはならない。」なんとなく日々を過ごすのではなく、努力のすべてが価値あるゴールになるようにし、学力・教養といったものを身につけ、人生を豊かにしていくのだ。厳しい寒さに耐えて咲く花は美しい。

条件は揃った。天が与えた試練の時、そして、自己を高めようとする君たちの思い。この条件の中、強い心で行動できれば、豊かな人跡が残されるだろう。パイロットが爽快な気持ちを味わったように、みんなが清新の気に満ちることを願いたい。

## ピンチはチャンスでもある

3 学年主任 塘 伸一郎

昨年4月に皆さんと出会ってから、1年が過ぎました。その間に時代が平成から令和に変わり、激動のあつという間の1年間だったと思います。1年前に、皆さんの前で「**人生を大きく変えるために、少しだけ余計に頑張る**」という目標を掲げました。少しだけ上を目指して真剣に向き合って努力することで「中だるみ」を打破することができたでしょうか。もっと頑張ることができた人が多かったように思えます。

ところで、56期生はとにかく大変な学年になりました。大学入試改革の大幅な変更により振り回された上に、挙句の果てがこの新型コロナウイルスによる災難です。学校が突然休校になっただけでなく、学校行事がほとんど無くなりました。これから先も全く読めません。ただこの状況は、全国の高校3年生にとって平等です。後悔しないように、この1年間を全力で乗り切ってください。

さて、先日の合同LHRで話したことをもう一度整理したいと思います。それは、ピンチはチャンスでもあるということです。鹿児島は、油断はできませんが東京などより気持ちの上で優位に立っています。学校が休校になって授業が進まない代わりに、今までなかなか時間がとれなかった復習のチャンスになります。自分の苦手な科目や分野をじっくり復習しましょう。全員が国公立大学に合格するレベルの学力を身につけるといふ目標も掲げました。これを実現するには、受験に必要な5教科全ての基礎力をしっかり身につけることが不可欠です。共通テストの範囲を、現時点で国数英はすべて学習しています。理科・地歴公民も既習事項を確実に勉強して、これから学ぶ新しい分野につなげましょう。

早くも今週で4月が終了します。新しい学級で2週間過ごして、受験は団体戦という気持ちが全員に芽生えたでしょうか。目標とする大学に”連れて行ってくれる友人”は見つかりましたか。もちろん、学級の垣根を越えても構いません。自分が目標にして一緒に頑張れる友人は、とても頼りになります。この2週間の学年の雰囲気は、よくなってきています。実力考査の結果を分析すると、春季休業中に頑張った成果が表れている生徒がたくさん見受けられました。一人一人の意識がだんだん変わっていることが感じられ頼もしい限りです。

気分が一新された今だからこそ、まず何事にも一所懸命取り組む「初頭努力」を続けましょう。自宅でこの文章を読んでいる56期生、授業が再開されたら少しスピードアップする予定で我々も準備しています。それについていけるように、予習をしっかりとっておいてください。現在、中央高校でもインターネットを利用した教材の準備を進めていますが、授業再開時に備えての準備も忘れずをお願いします。その際大切なことは、学習時間は小銭集めであるということです。まとめて学習時間を確保することはもちろん大切ですが、20分くらいのわずかな時間を有効に使いましょう。だらだらと一日を過ごすことがないように、起きる時刻・寝る時刻・食事をとる時間・学習する時間を固定して、一日のリズムをしっかりと固定しましょう。

最後に、保護者の皆様をお願いいたします。この一年間は大変な一年になります。本校の先生方全員で学年や進路指導部が先頭になって、56期生全員が進路目標を達成できますよう、教育活動に取り組んでまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。御家庭では、お子様とよくお話しいただき、何かと心配なことがありましたら、担任の先生と連絡を取り合ってください。よろしくをお願いいたします。

今年の進路室便り3学年版は、前年度と同じように前段は学年の先生から皆さんへのメッセージを書いています。後段は、**気張いやんせ56期生**としてタイムリーな話題を提供します。(担当 塘)

### ～気張いやんせ56期生～ 「受験は明るく素直に」

新型コロナウイルスの恐怖で世の中が暗い話題だけになっているときに、56期生は受験を迎えます。今まで30年以上受験生を指導して思うことは、「受験は明るく素直な生徒がよい結果を残す」ということです。いろいろ悩みがあっても、日頃から笑顔を絶やさず元気に前向きに生活することを心掛けて実践する。言うまでもないことですが、明るいことと騒がしいことは別物であることに注意してください。また、時間が足りなかったり、結果が出なかったりすると急に自己流に走る受験生が、必ず現れます。効率が悪いなどと言い訳して、自分勝手な学習をして合格した受験生はあまりいません。自分は大学受験が初めての初心者であることを自覚して、素直に先生方の指導に耳を傾けましょう。自分では分かっていなかった隠れた才能を発揮できるかもしれません。